

第7回 政治・外交史(1)

まとめてみよう！

解答は別冊 14ページ

1 旧石器時代・縄文時代 66ページ

- 群馬県の①遺跡が発見されたことによって、日本に旧石器時代が存在したことが明らかになりました。
- 縄文時代には、人々は②住居をつくって定住するようになりました。
- ③土器の発明によって、食生活の向上がもたらされました。
- 縄文時代のごみ捨て場と考えられてきた④から、人々のくらしのようすや、当時の海岸線のようすがわかります。
- 自然をうやまい、まじないによってくらしした人々は、⑤をつくって、魔よけや安産などを祈ったと考えられています。

2 弥生時代 67ページ

- 稲の収穫には⑥という石器が使われ、稲は⑦という倉庫に保管されました。
- 弥生時代には、たくわえの多い少ないによって貧富や身分の差が生まれ、⑧や土地、米などをめぐって、村どうしの⑨が始まったと考えられています。
- 佐賀県にある⑩遺跡は、まわりに濠をめぐらせた⑪集落としては日本最大級の遺跡です。
- 中国の⑫という歴史書には、紀元前1世紀ごろの日本は、⑬あまりの小国に分かれていたと書かれています。
- 1世紀、漢の皇帝が⑭(福岡市付近にあった国)からの使いに「⑮」の金印を授けました。
- ⑯という書物には、3世紀に⑰の女王である卑弥呼が、30あまりの国を従えていたことが記されています。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	
⑯	
⑰	

3 古墳時代・飛鳥時代 68~70ページ

- 1 3世紀半ばから4世紀にかけての時期に成立したヤマト政権は、4世紀末には⑮と結んで高句麗と戦いました。また、5世紀には、朝鮮半島南部の支配を認めてもらうため、⑯の五王が中国に使いを送りました。
- 2 大陸から移り住んだ⑰によって、さまざまな技術や文化が伝えられました。5世紀には儒教が、6世紀にはシャカが開いた⑱が、朝鮮半島の⑮から伝えられました。
- 3 593年、⑳天皇は聖徳太子を㉑とし、蘇我馬子の協力を得て、大王中心の政治をめざしました。
- 4 603年、朝廷の役人の位を示し、才能のある人を役人にとりたてるため、㉒が定められました。604年には、豪族たちに朝廷の役人としての心がまえを示すため、㉓が定められました。
- 5 607年には㉔を中国に送り、当時の王朝であった㉕のすぐれた制度や文化を取り入れようとしてきました。
- 6 645年、㉖(後の天智天皇)と中臣鎌足(後の藤原鎌足)は蘇我氏を滅ぼし、天皇中心の政治をめざして、㉗とよばれる政治の改革にとりかかりました。
- 7 ㉘では、これまで天皇や豪族がもっていた土地や人民を国家のものとする㉙や、6年ごとに戸籍をつくり、それにもとづいて人々に田を分けあたえる㉚の法などが示されました。
- 8 663年、日本は、唐と㉛の連合軍に敗れました。この戦いを㉜といいます。この戦いの後、㉖は都を大津(滋賀県)に移して、天智天皇として即位しました。
- 9 天智天皇の後つぎをめぐって、㉝が起こりました。この戦いに勝った大海人皇子は㉞天皇となり、政治の改革をさらにすすめました。
- 10 ㉟天皇の死後は、皇后が㊱天皇となりました。694年には、奈良盆地の南部に大規模な㊲という都を築きました。

⑮

⑯

⑰

⑱

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

11 701年、が定められました。これにより天皇を中心とする政治のしくみが完成しました。

12 中央には、天皇のもとに二官八省がおかれました。一般の政治は大臣を最高責任者とする官が行いました。

13 地方は国・郡・里に分けられ、それぞれに、・・という役人がおかれました。このうち、税の取り立てをおもな仕事とするのは、でした。

14 農民の負担には、以下のようなものがありました。

〈税〉 ・収穫した稲の約3%を地方に納める

・地方の特産物を都に納める

・都で10日間働く代わりに布を都に納める

〈兵役〉 ・一年間都の守りにつく衛士

・三年間九州の守りにつく

4 奈良時代 71ページ

1 710年、天皇は、唐の都である長安にならって、奈良にをつくり、都を移しました。

2 には、全国各地から税が運ばれてきました。税には、荷札として、という木の札がつけられていました。

3 天皇は、の力によって社会の不安をはずめようとなりました。寺を国ごとにつくるとともに、総寺である奈良の寺に大仏をつくるよう命じました。

4 唐の高僧であったは、苦難の末に来日し、日本の仏教の制度を整え、奈良に寺を開きました。

5 きびしい負担にたえかねて逃亡する農民があらわれるとともに、人口が増えて、支給する田であるが足りなくなってきました。このため、723年にが、743年にが出されて、土地の私有が認められるようになりました。

6 経済力のある貴族や寺社は、農民などを使って開墾を行い、後にとよばれるようになる私有地を増やしていきました。

38	<input type="text"/>
39	<input type="text"/>
40	<input type="text"/>
41	<input type="text"/>
42	<input type="text"/>
43	<input type="text"/>
44	<input type="text"/>
45	<input type="text"/>
46	<input type="text"/>
47	<input type="text"/>
48	<input type="text"/>
49	<input type="text"/>
50	<input type="text"/>
51	<input type="text"/>
52	<input type="text"/>
53	<input type="text"/>
54	<input type="text"/>
55	<input type="text"/>
56	<input type="text"/>
57	<input type="text"/>
58	<input type="text"/>
59	<input type="text"/>

5 平安時代 72~73ページ

- 1 784年, ⑥0 天皇は, 都を長岡京に移しましたが, 都づくりがうまくすすまなかったため, 794年, 都を⑥1に移しました。以後約1100年間, ⑥1が日本の都となりました。
- 2 ⑥0 天皇は, 国司に対する監督をきびしくして地方の政治を引きしめました。また, ⑥2を征夷大将軍に任命して, 東北地方で朝廷に抵抗する⑥3をおさえさせました。
- 3 律令政治の立て直しの中で, 藤原氏が勢力を強めました。藤原氏は, 天皇が幼いときには⑥4, 成人した後は⑥5として, 政治の実権をにぎりました。このような政治を⑥6といいます。
- 4 藤原氏が最も栄えたのは, 11世紀前半の, ⑥7とその息子である⑥8のころでした。
- 5 1086年, ⑥9 天皇は, 位をゆずって上皇となった後も, 自分の屋敷で政治を行いました。このようにして⑦0とよばれる政治が始まると, 藤原氏の勢力は急速におとろえていきました。
- 6 各地に武士がおこり, 桓武天皇の子孫である⑦1氏と, 清和天皇の子孫である⑦2氏が有力になっていきました。
- 7 10世紀半ば, 関東で⑦3の乱が, 瀬戸内海で⑦4の乱が起こりましたが, いずれも地方の武士によってしずめられました。
- 8 1156年, 上皇と天皇の対立に藤原氏や武士たちの内部争いが加わり, ⑦5が起こりました。天皇方について勝利した⑦6と源義朝がその後に対立し, 1159年, ⑦7が起こりました。
- 9 ⑦7にも勝利した⑦6は武士として最初の⑦8になり, 娘を天皇の后にして勢力をふるいました。⑦1氏は多くの荘園をもつとともに, 大輪田泊を修築して⑦9との貿易をさかんに行いました。この貿易では, ⑦9 銭や陶磁器が輸入されました。
- 10 ⑦1氏は, 1185年, ⑧0の戦い(山口県)で⑦2氏に滅ぼされました。

⑥0

⑥1

⑥2

⑥3

⑥4

⑥5

⑥6

⑥7

⑥8

⑥9

⑦0

⑦1

⑦2

⑦3

⑦4

⑦5

⑦6

⑦7

⑦8

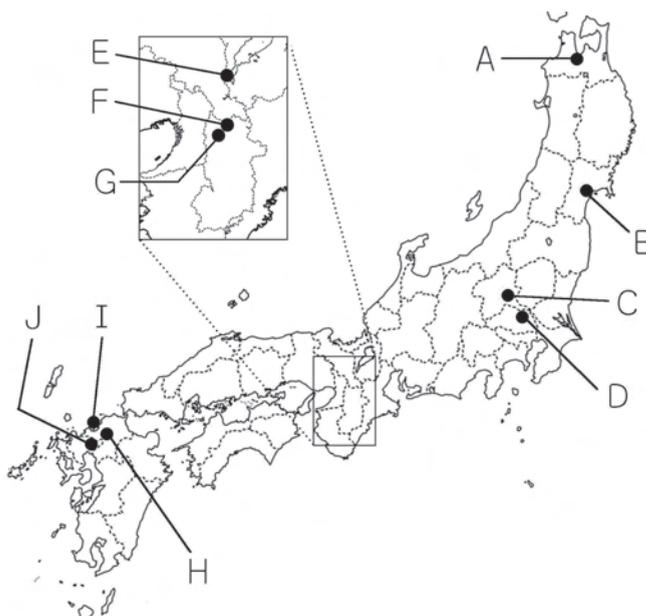
⑦9

⑧0

次の地図を見て、後の問いに答えなさい。

問1 Aの遺跡では、約1500年間も集落がいとなまれました。この遺跡から発見されたものとしてふさわしくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 縄文土器 イ 土偶
ウ 富本銭 エ 竪穴住居のあと



問2 Bには、聖武天皇が命じて国ごとに建てさせた寺院がありました。これについて述べた文として正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 当時の朝廷は、東北地方全体を支配していました。
イ Bの寺院は、広隆寺とよばれる寺院です。
ウ Bなどの寺院の総国分寺は、東大寺です。
エ 行基が、Bの寺院の大仏づくりに協力しました。

問3 Cの遺跡が発見されたことで、日本に旧石器時代のあったことが証明されました。Cの遺跡を次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 大森貝塚 イ 登呂遺跡 ウ 岩宿遺跡 エ 中里貝塚

問4 Dの古墳から出土した鉄剣には、大王の名を示す文字が刻まれていました。この大王の名をカタカナで答えなさい。また、この大王と同一人物とされる天皇を次から選んで、記号で答えなさい。

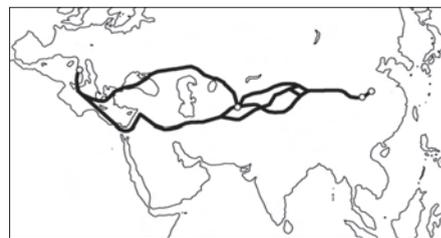
- ア 天武天皇 イ 雄略天皇 ウ 桓武天皇 エ 推古天皇

問5 Eは、ある人物によって、白村江の戦いの後に都が移されたところです。この人物が天皇の位につく前、中臣鎌足らとともに始めた改革を何といいますか。

問6 Fに都がおかれていた時代について、次の問いに答えなさい。

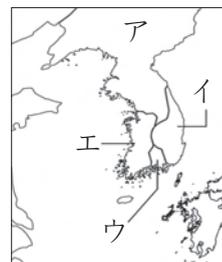
- 1 Fに都がおかれていた時代のできごととして正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。
ア 白河天皇は、幼い皇子に位をゆずって上皇になった後も、自分の屋敷で政治を行いました。
イ 口分田の不足をおぎなうため、三世一身の法が定められました。
ウ 坂上田村麻呂が征夷大將軍に任命され、抵抗する蝦夷をおさえました。
エ 下総国の豪族が反乱を起こし、自ら新皇と名のって、新しい政府をつくろうとしました。

- 2 この時代には、右の地図の道を通して、中国でつくられたある品物がヨーロッパへと運ばれました。このことから、この道は「の道」とよばれるようになりました。にあてはまることばを漢字で答えなさい。
- 3 中国の高僧であった鑑真は、何度も失敗しながら日本にわたり、Fの都に来て、日本の僧の制度を整えました。この当時の中国の王朝の名を漢字で答えなさい。



問7 Gの寺院には、現存する木造建築物としては世界で最も古いものがあります。この寺院について、次の問いに答えなさい。

- 1 この寺院にある仏像には、大陸の影響が見られます。日本に公に仏教を伝えた朝鮮半島の国を右の地図から選んで、記号で答えなさい。
- 2 この寺院を建立したとされる人物の名を漢字で答えなさい。また、この人物について述べた文として正しいものを次から2つ選んで、記号で答えなさい。
- ア 持統天皇の摂政を務めました。
- イ 蘇我蝦夷の協力を得て政治を行いました。
- ウ 小野妹子を中国につかわしました。
- エ 役人の地位をあらわす冠位十二階を定めました。



問8 Hにおかれた役所では、九州の守りに関した人々を監督する仕事を行っていました。この人々は兵士から選ばれ、三年間任務につきました。この兵役のことを何といいますか。

問9 Iの島では、江戸時代に金印が発見されました。この金印について書かれている中国の歴史書の名を答えなさい。また、その歴史書に書かれている内容として正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 楽浪郡の海のかなたには倭人が住んでいて、100あまりの国に分かれている。
- イ 邪馬台国は、もとは男子が王であったが、国中で争いが続いた。
- ウ 1世紀の中ごろ、倭の奴国の使いが中国に貢ぎ物を持ってきた。
- エ わたしの祖先は、山や川をかけめぐり、95か国をしたがえた。

問10 Jの遺跡は、環濠集落の遺跡としては日本最大級のものです。この集落がつくられた時代について述べた文として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 死者を葬る方法に差が出てきて、有力者の墓には木簡や埴輪を納めるようになりました。
- イ 銅剣や銅鉾がつくられ、祭りの道具として用いられるようになりました。
- ウ 田げたをはいて田植えをして、石包丁でつみとった稲を高床倉庫に保存しました。
- エ 土地や水・米などをめぐって、村どうしの争いが増え、戦いが起こりました。